

JBA創薬モダリティ基盤研究会



設立趣旨：

次世代抗体医薬・核酸医薬・遺伝子細胞治療・再生医療・デジタル医療など、新たに取組みが活発化しているモダリティによる創薬を結実させるためには、多彩な関連技術やパートナーなどの創薬エコシステムが不可欠である。

本研究会では、国内モダリティ基盤技術の現況・立ち位置等の把握を行い、必要な基盤技術群の構築と充実を目指し、活動を進める。

設立：2019年 11月

会長

中外製薬(株)顧問 久保庭 均

副会長

東京理科大学 教授 和田 猛

国立成育医療研究センター 小野寺 雅史

東京大学 教授 津本 浩平

(2023.9現在)

- ・会員： **96** 企業・機関・アカデミア
- ・大学等公的研究機関：17
- ・企業：76 (製薬,CRO,CMO,Venture等)
- ・団体・組合：3

・参加資格：趣旨に賛同するJBA法人会員、JBA個人会員(アカデミアのみ)

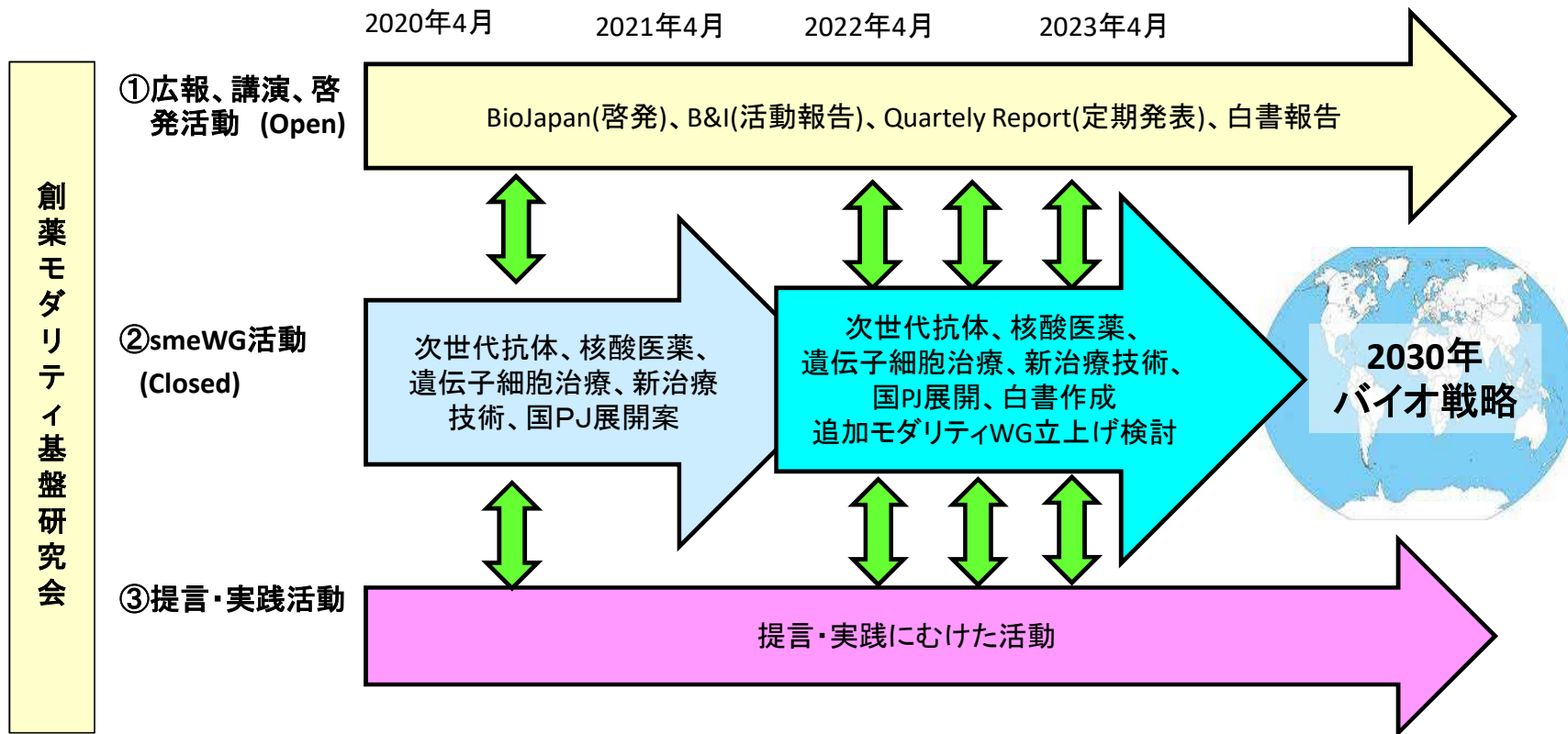
・入会のお申し込み：JBA創薬モダリティ基盤研究会事務局 渡邊、北嶋、岸本、矢田
e-mail : modalities@jba.or.jp、電話：03-5541-2731

創薬モダリティ基盤研究会

- **ビジョン**
「日本の創薬モダリティ研究、産業の振興を図り、新たな治療法を連続的に生み出すことで、イノベーションを通じて世界に貢献する」
- **ミッション**
「創薬モダリティに軸足を置いた議論・研究を通じて、日本のバイオエコノミー戦略の推進に資する」

研究会活動方針

3つの柱<学び・議論・発信>



活動方針と活動実績 2022年度

- 活動方針

- ① 専門家によるsmeWG活動
- ② 広報、講演、啓発活動
- ③ 政策・提言にむけた活動

3つの柱の活動

の3つの柱を活動として進め、特に①smeWG活動を本研究会活動の中心活動を位置付けて取り組む

- smeWG活動(closed) (2023.09現在)

- smeWG(次世代抗体) (10社 1大学)
- smeWG(核酸医薬) (10社2大学)
- smeWG(遺伝子細胞治療) (10社 1 機関)
- smeWG(新治療技術) (7社)

subject matter expert WG
4専門家WGで活動中

技術・ビジネス・規制面からの課題掘り起こし

2030年に向けたバイオ戦略に合わせたビジョン・ロードマップを議論、等

広報・講演・啓発活動 2022年度

❖ 4-8月

- 創薬モダリティ基盤研究会 講演会「Deep learning時代の抗体創薬」
- The 4th JBA-BPOG Seminar — Justification of small models, an industry perspective —
- 創薬モダリティ基盤研究会 講演会「多重特異性抗体の開発トレンド」
- 第4回 JBA創薬モダリティ基盤研究会 全体会 多様化する創薬モダリティ開発にどう対処するか
- AMED先端的バイオ創薬等基盤開発事業 連携講演会「遺伝子改変T細胞療法の有効性を高める！～選択的制御遺伝子」
- B&I 産業と行政 「我が国の遺伝子細胞治療の現状と課題、そしてその対策について」

❖ 9-12月

- BioJapan2022出展者プレゼンテーション: AIとエンジニアリングはバイオの明日を拓く
- BioJapan2022主催者セミナー「N-of-1試験による究極の個別化医療とレギュレーション」
- BioJapan2022出展者プレゼンテーション: 新規モダリティの最新動向～複雑化・デジタル化・複合化
- BioJapan2022主催者セミナー「遺伝子治療実用化に向けた課題と対応」
- 創薬モダリティ基盤研究会 講演会「DDSの概要と非ウイルスベクターを用いた遺伝子治療への展開」

❖ 1-3月

- 創薬モダリティ基盤研究会講演会「低分子・抗体・幹細胞製造プロセスのデジタル設計」